



# 交通安全のために活動する 仲間を募集しています



## 津島交通安全協会大治支部

大治支部は、地域住民の交通安全意識の高揚と住みよい町づくりを目的に、昭和42年より活動しています。毎月「交通死亡事故ゼロの日」には、児童の登校時間帯に、交差点や横断歩道で交通安全運動をしています。

本県は毎年、交通死亡事故が多発しており、活動の活発化のため大治支部では会員を募集しています。

**入会資格** 町内在住・在勤の方

**その他** 無報酬、年会費1,000円、制服支給、傷害保険全額補助金で加入

## 大治町女性運転者友の会

女性運転者が自ら交通道德の高揚と運転技術の向上を図るため、各種交通安全キャンペーンを展開し、積極的に交通安全運動に参加しています。

また、交通安全教育として、保育園や幼稚園で交通安全紙芝居を行うなど、女性ならではの啓発活動に取り組んでいます。

**入会資格** 町内在住・在勤で運転免許を持つ女性の方

**その他** 無報酬、年会費500円、活動着支給、傷害保険全額補助金で加入

**問合せ先** 役場 防災危機管理課 内線152

## 歯の健康講座

### 認知症予防とかかりつけ歯科医院

これまでの歯科現場では、認知症高齢者の歯の数が少ないことはよく知られており、原因は「認知症になり歯の手入れが十分にできなくなるから」と考えられていました。しかし、実は、歯の少なさが認知症誘発の原因となり得る可能性があることが最近の研究で分かってきました。

歯がほとんどない人は、大抵奥歯がありません。奥歯を失うと噛み合わせが安定せず、咀嚼力も衰えるため、脳への刺激が減って脳細胞の減少につながります。また、噛める食材も限られてしまうので、認知症予防に効果的なビタミン類などの栄養素の摂取量も減少していきます。そのため奥歯に入れ歯を入れてしっかりと噛むことが必要です。しっかりと噛むことで、脳の血流がよくなる。脳細胞が活性化され、結果として認知症予防につながります。

入れ歯の使用で認知症になる危険性は減りますが、自分の歯を残すことは非常に大切です。入れ歯は自分の歯と比べて噛む能力が落ち、異物感もあります。自分の歯が残っているに越したことはありません。健康長寿のためには、まず自分の歯の喪失を防ぐことが何より重要です。

自分の歯の喪失を予防するにはどうすればいいのでしょうか。それはかかりつけ歯科医院を持ち定期的に、メンテナンスをしっかりと受けることではないでしょうか。